

福島県労連

2023 年 12 月 15 日 Vol. 280(12月号)

発行／福島県労働組合総連合

〒960-8061 福島市五月町 2-5 一番ビル

TEL:024(522)3097 FAX:024(522)3102

Email:fkssoren@soleil.ocn.ne.jpURL:<https://fkssoren.org/>

労働者・住民のいのちとくらし、地域を守ろう！ —福島県と全市町村に要請、懇談を実施—



高松義行本宮市長(右)に要望書を渡す、
佐原成典二本松地方労連議長(左)



押山利一大玉村長(左)に要望書を渡す、
佐原成典二本松地方労連議長(右)



松本雅昭県商工労働部長(右)に要望書を渡す、
野木茂雄福島県労連議長(中央)、佐藤晃子県
労連事務局長(左)

提出した「要望書」の内容

- ①「全国一律・時間額 1500 円以上」の最低賃金の実現と会計年度任用職員の処遇改善
- ②看護師、介護職員、保育士、学童保育指導員などケア労働者の増員と処遇改善
- ③教職員の欠員状態の解決と教育費負担の軽減(学校給食費の無償化・高校生タブレットの無償貸与)

福島県労連と各地方労連、自治労連福島県本部は、10月末から11月末にかけて、新型コロナウイルスに続く物価高騰の中で労働者のくらしを守る施策を要望する「労働者・住民のいのちとくらし、地域を守る自治体キャラバン」にとりくみました。

「自治体キャラバン」では、県内59市町村のうち、56市町村を訪問。「要望書」(別掲)を提出しながら、首長、副首長、総務課長などのみなさんと懇談しました。全体として「人口減少」「少子化対策」「人手不足」などの悩みが共通して語られ、自治体職員の確保に苦勞している自治体もありました。また会計年度任用職員の処遇等については「県に準拠。賃金改定は4月に遡及する」方向で検討する自治体も多くありました。高松生

校生のタブレットについては「東北6県で無償貸与していないのは福島県のみ」という現状は知られておらず、驚きが広がりました。

キャラバンにあわせて、自治労連福島県本部は「会計年度任用職員の雇用安定と処遇改善要求書」を、年金者組合福島県本部は「加齢性難聴者の補聴器購入に対する助成制度の創設を求める要望書」をそれぞれ提出しました。また福島県医労連は「すべての医療・介護従事者の処遇改善と人員増を求め」陳情を各市町村議会に提出しました。

県商工労働部長にも要請

12月5日午後には、野木茂雄県労連議長などが、松本雅昭県商工労働部長を訪問し、同趣旨の「要望書」を提出しながら、県独自の施策の推進を要望しました。

仲間を増やして春闘に勝利しよう！

福島県春闘共闘委員会 「2024年総会」を開催



福島県春闘共闘委員会（代表・野木茂雄県労連議長）は、12月7日夜、オンラインで「2024年総会」を開催し、2024年春闘方針と役員体制を確認しました。総会には加盟単産、地域組織から50人余が参加しました。総会では、黒澤幸一全労連・国民春闘共闘委員会事務

局長が「24春闘の焦点は何か」と題して講演しました。黒澤さんは「人間らしい生活と豊かな職場・地域にするために、この日本を『賃金の下がり続ける国から、上がる国にする』」と、この要求を労働者が労働組合の力でたたかい、職場・地域から実現させることが24国民春闘の焦点である」と強調しました。

そのためには「たたかう労働組合のバージョンアップ」が必要で①ストライキなど高い交渉力でたたかえる組織なること、②産別や地域の統一闘争への結集をつよめること、③要求の求心力で仲間を増やすことができる労働組合になることをよびかけました。また同時に、「最低賃金全国一律制



への法改正キャンペーン」「すべてのたたかいでのジエンダー平等推進キャンペーン」「非正規春闘を力かかてたたかう」ことも重視することもよびかけました。

総会では、「離職のない、働きやすい職場環境を」「正規雇用を」「仲間を増やそう」など今年の春闘で勝ち取りたい要求やこんな春闘にしたいという思いを交流しました。みんなのねがいを出し合って、実現にむけて力をあわせましょう。

<24国民春闘スローガン>
たたかう労働組合のバージョンアップ
低賃金と物価高騰から生活まもる
大幅賃上げ・底上げを
軍拡・増税でなく社会保障の充実を

福島県労連 ストライキ学習会

・2024年1月30日(火)

夜6時30分～

・完全オンライン(zoom)

・講師は高橋勝行さん

(県医労連執行委員長)

みんなで力あわせ、声を上げよう！

●1月9日(火)全国いっせい新春宣伝行動

●2月3日(土)賃金上げろ！物価高騰から生活守れ！ケア労働者の賃上げを！ローカルビッグアクション

●3月13日(水)賃上げ回答集中日

●3月14日(木)全国統一行動日(統一ストライキ)

●4月10日(水)最低賃金全国一律制の実現めざすビッグアクションデー

全国いつせい労働相談ホットライン

切実な相談次々



福島県労連労働相談センターは、12月7日、電話で労働相談を受け付ける「全国いつせい労働相談ホットライン」を実施しました。例年、年末にかけて相談が増えることから、毎年実施しています。

当日は、パワハラや賃下げ、賃金未払いなど7件の相談が寄せられました。娘の長時間労働を心配した父親からの相談もありました。対応した相談員は、それぞれに、親身なアドバイスをを行いました。

この日のとりくみは、NHKが昼と夜のニュースで紹介しました（写真）。



★各単産・地方労連の定期大会★

福島私教連

第58回定期大会

10月15日、県青少年会館で開催。「教え子を再び戦場に送らない」など各職場で教職員組合の役割をあらためて実感できるようなとりくみを重視することを確認。菅野智浩執行委員長、五十嵐幹書記長を再任しました。

福島県国公

第65回定期大会

11月25日、福島市ウイズもともちで開催。賃金をはじめとした労働条件改善の必要性のほか、各職場の現状や各単組でのとりくみ状況等が幅広く意見交換されました。富田克英議長、遠藤友行事務局長を再任しました。

岩瀬須賀川地方労連

第33回定期大会

11月24日、いわせ教育会館で開催。今年の春闘で全医労福島支部のストライキを成功させた横（地域）のつながりをさらに発展させることを確認。堂脇和秀議長、永田博事務局長を再任しました。



福島県公務労組連絡会

第27回総会

11月29日、県立高教組会議室とオンライン併用で開催。安心して住み続けられる地域、安心して働き続けられる職場をつくるため、引き続き力をあわせていくことを確認。安斎真議長を再任し、大堀寛和事務局長を再任しました。

福祉保育労組福島支部

第39回定期大会

11月23日、完全オンラインで開催。保育士、介護職員などの配置基準の見直し、増員と処遇改善にむけ、共同の輪をさらに広げることを確認。渡辺和博執行委員長を再任し、西戸ひろみ書記長を再任しました。



医労連・しのぶ福社会パワハラ裁判判決日が決まりました！

2024年2月20日(火)

午後1時15分～

仙台高裁



まちがいはいっつ (桂)



〈問題〉上の絵と下の絵を比べると7カ所のまちがいがあります。どこでしょう。印刷のよれやかすれ、スクリーントーンの濃淡はまちがいに入りません。

応募のしかた

正解者5名に

図書カード当たります！

応募はハガキ（メールも可）に、①クイズの答え、②氏名（ふりがなも）、③住所、④所属労組名、⑤ひとことを必ず（必要な方はペンネームも）書き添えてご応募ください。締め切りは1月15日です。抽選で5名の方に図書カードをプレゼントします。

278号（10月号）のクイズの答えと当選者

答えは①水筒のコップ②おにぎりの箱③リンゴの数④鳥のくちばし⑤女性の後ろの丘⑥少年の帽子⑦右側の木の数でした。応募者は4名で全員が正解。次の4名の方に図書カードを送ります。

- ◇こだま交通労組 ミキケンさん
- ◇福厚労高田分会 じげんさん
- ◇福島県医労連 ホエイさん
- ◇大原病院労組 しんこさん

イスラエルはガザ攻撃をやめよ！ 即時停戦を！



福島県労連も加盟する「憲法を守りいかに福島県共同センター」は、12月5日、福島市AXCビル前で、「イスラエルはガザ攻撃をただちにやめよ！即時停戦！」を求めて宣伝アピール行動を実施しました（写真）。参加した野木茂雄福島県労連議長は、今回の紛争の契機となったハマスの軍事攻撃を批判するとともに、ガザ地区では戦闘開始から約2か月で、15,500人以上が死亡、このうち、子どもたちの犠牲が6,200人へのぼることを紹介し、イスラエルは無差別攻撃をただちに中止し、双方が即時停戦を実現することを訴えました。

聞いて聞いて
私の思い みんなの願い

☆学習の友でも紹介、韓ドラ「ミセン」非正規の若者の話。日本も同じ。若者が希望をもてる国にしないと!!
(大原病院労組 ナマステさん)

☆コロナは5類になりましたが、組合活動は停滞しています。来年は楽しい企画ができればいいなと思っています。
(大原病院労組 しんこさん)

☆物価高で私たち老人（年金のみで生活）はやりくり大変。今こそ200兆円もある年金積立金ほんの少し回せ!!
とうしより、としよりのため：積立金（投資）（年寄）
(年金者組合福島支部 のりじいさん)

☆久しぶりに開催された収穫祭（農民連、新婦人共催）に参加しました。勤労感謝の祝日にふさわしい天候でした。めったにみれないモチつきに、手拍子も出て楽しいひとときでした。室内ではつきたてのおもちをたくさん食べて、その後はコカリナ演奏、マジックショー。おみやげもあり、また産直の野菜を購入。大まんぞくの日でした。

(会津地方労連 赤べこさん)



自動車共済

割安な共済掛金、補償は充実！
等級別割引・割増の継承ができる！

全労連共済 お申し込み・お問い合わせは各共済会へ